

明治八年
大阪
錦田
新聞
第九号

第三月十七日午
後八時頃大阪府成
都第三區曾根崎

村云くは、新巻まの情死
とて汚名の高き安五良ハ、元薩
州藏の仲士にて、江戸堀北通
三丁目に住居せしもの、ト上福嶋を
山崎味藏の娘あけといふと、身

此處ハカ新中きる。川村よのとの方へ、二人とも心易く
行のまより、あつちの、未だ夫婦と約束に、しじら
身も重く、親も明て産子、間もあ、死せと

幸ひに、あふの親を、味藏ハ二人が中とひき分け、が、その
ら、その男の、味藏ハ大いに心痛、弟の直七にたのむけ、ま、
直七の、周旋して、二人は、いんへ、なれ、弟知顔、と安五良
あれお付いて、説も有、あ、二階に、たき、上、聞か、物首、何
事、と、と、見、燈、あ、け、て、ま、の、終、の、間、を、二人とも、血ま、ま、ま、
有、録、に、ハ、何、故、と、問、ま、も、あ、其、後、息、た、下、と、い、え

正情堂誌



石和版

此の新聞

60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 9